

潰瘍性大腸炎で生物学的製剤治療法を受けられる

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日
経過	治療当日 (入院日)	治療後 2 日目 (退院日)
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○治療の副作用症状を理解できる ○副作用が最小限で治療を終了することができる ○感染予防の自己対策が理解でき実行できる ○退院後の日常生活上の注意点について理解できる 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・身長、体重測定 ・採血 ・採尿 	
食事	退院日は朝食のみ	
	朝食はご自宅で	
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> ・リストバンドを装着します ・点滴の針を留置します ・点滴の針を入れている箇所の観察をします <p>※薬剤投与開始直後は、薬剤に対する過敏反応が出現する可能性があるため、体温・脈拍・血圧測定や点滴挿入部の観察を適宜行います (15分後、30分後、60分後、90分後、120分後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時にリストバンドを外します ▶ 抜去します
	<p> 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります</p>	
内服・点滴	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 	<ul style="list-style-type: none"> 常用薬は継続していただきます
	<ul style="list-style-type: none"> 治療 30 分前に以下の内服があります ・抗アレルギー剤 	
	<ul style="list-style-type: none"> 治療点滴を行います (約 1~2 時間) 	
行動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません シャワー浴できます 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食後退院です
	<ul style="list-style-type: none"> 医師より (外来または入院時) <ul style="list-style-type: none"> ・治療計画について 看護師より <ul style="list-style-type: none"> ・入院生活について ・点滴投与中の注意点について (過敏反応について) 薬剤師より <ul style="list-style-type: none"> ・持参薬確認 ・使用薬剤について 	<ul style="list-style-type: none"> 医師より <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。